

【参考】塾業界等の一部の人からは「理想の塾」とさえ言われたかつての栗谷塾は、こんな塾でした。正に今の栗谷塾の原型です。—私の職務経歴書より抜粋。

「私が最も重視していたのは、生徒の話に徹底的に耳を傾けて、生徒の意欲を引き出す事でした。そうすると、生徒は自尊心を持って伸び伸びと自分自身を発揮するようになり、表情は明るく豊かになり、話は考え抜かれた次元の高い物になっていったので、私も生徒との意義深い対話を楽しむ事が出来ました。生徒の学力が向上したのは言わずもがなです。」

「授業方法については、日々の授業の具体的な進め方を予定するのではなく、長期的な視野で柔軟に考え、生徒一人一人の興味や能力、状態に応じて、レポート、自由作文、詩、本の読み聞かせ、図解、イラスト、インターネット、実験、見学等、様々な教材・授業方法を提案し、話し合いながら、それぞれの授業を作り上げて行きました。その結果、生徒達は、自分の授業に意欲的に取り組むだけでなく、自分のとは違う他の生徒の授業にも興味を持ち、互いの持ち味を知り合い、励まし合ったり刺激し合ったりするようになりました。」

「私の授業スタイルへの認識を深めてくれた生徒達と保護者達は、私の側からのアクションによく応えてくれました。授業時間外でも誰かが自主学習をすれば、他の生徒も来塾して協力しました。保護者達とは、私の側からは、塾通信を発行して塾の様子や私の考えを伝え、保護者達は、よく教室に顔を出して、積極的に意見や相談をしてくれました。」

「どの生徒にも他の生徒達から一目置かれる舞台を作る事により、全ての生徒が前向きな気持ちで塾に通い、気持ち良く自分自身を発揮出来るように配慮しました。」

「私自身は、朝から晩まで、生徒や保護者一人一人の顔を思い浮かべ、一人一人との対話を思い返して、一人一人への対応を考えていたものです。」

「私にとってこの塾は、意気を感じて生徒達の為に力を尽くす事の出来る、素晴らしい環境だったと思います。当時の生徒達と保護者達には、今でも感謝しています。」

栗谷塾公式ウェブサイトより

栗谷塾の理念



2016年01月01日(金)

栗谷塾は、私、栗谷聡が、1993年以來の塾での指導経験、経営経験の集大成として、風光明媚な三浦半島、神奈川県横須賀市津久井で、改めて開いた職住一致の個人塾(家塾)です。



私は、1993年に塾で働き始め、1994年に千葉県で最初の栗谷塾を開きました。

それ以後、栗谷塾を経営したり、他人の経営する塾で働いたり、時には塾と云う物の将来を悲観して塾業界を離れたりもしました。

と言うのは、世間一般の親達子達は、塾や学力を益々規格化された

見方で見ると、上辺の結果だけを追い求めるようになっていったからです。

そのような親達子達の中では、宣伝文句ではなく本当に生徒一人一人の為に柔軟に行なう指導は成立せず、栗谷塾を再び開いても経営していけないだろう、と思われました。

しかし、かつての栗谷塾の親達子達は、一般の親達子達とは違った事、つまり、栗谷塾は、私だけでなく親達子達も、一般の塾と同じように見る事が出来ない塾だった事に気づき、2010年、私は、栗谷塾を再開する事にしました。

再開塾に際して、私は一つの希望を持ちました。

それは、かつての栗谷塾をずっと続ける事が出来ていたら、と想像すると、自ずと湧いてくる希望です。

主体的な[意志]を持つ人達による、互いの[意志]に対する[信頼関係]が成立する、と云う希望

これがその希望です。

そして、この希望が実現していくならば、栗谷塾は、指導の面でも経営の面でも、特別な結果を実現する事になります。

なぜなら、塾の皆が、普通を遥かに超えて[学力]を伸ばし、普通を遥かに超えた強い絆で結ばれる事になるからです。